

第77回SGRAフォーラム

なぜ、戦後80周年を記念するのか？

～ポストトランプ時代の東アジアを考える～



第77回SGRAフォーラム

「なぜ、戦後80周年を記念するのか？」

～ポストトランプ時代の東アジアを考える～

日時: 2025年7月26日(土) 14:00～17:00

会場: 早稲田大学大隈記念講堂 小講堂 および Zoomウェビナー

共同主催: 暹美国際交流財団グローバル研究会
早稲田大学先端社会科学研究所・東アジア国際関係研究所

言語: 日本語・中国語(同時通訳) 参加無料 要事前登録

お問い合わせ: SGRA事務局 (sgra@aisf.or.jp)

フォーラムの趣旨

2025年は戦後80周年を迎える。アメリカにおける政権交替にもなっており、アジアをめぐる国際情勢がより複雑化を来している。こうした状況のなか、多様性や文明間の対話を尊重し、相互協力のなかで平和を希求してきた戦後の歴史を本格的に検証することの意義は大きい。日本、中国、韓国、東南アジアの視点から戦後80年の歳月に光を当て、近隣諸国・地域と日本との和解への道を振り返り、平和を追求するアジアの経緯と、今日に残る課題を語り合う。

基調講演

藤原 翔一 (順天堂大学特任教授・東京大学名誉教授)

沈 志華 (東華師範大学清華教授)

冷戦から冷戦までの間
- 第二次世界大戦後米中関係の展開と日本 -

冷戦、北東アジアの安全保障と
中国外交戦略の転換

若手研究者による討論

- 榎 尚希 (関西大学政策創造学部教授)
- 野崎 雅子 (早稲田大学社会科学総合学術院助手)
- ラクスミワタナ モトキ (早稲田大学アジア太平洋研究科)
- 李 熙銘 (南山大学総合政策学部教授)

SGRA Global Research Association
SOKUHO INTERNATIONAL FOUNDATION

第77届SGRA论坛

“为什么要纪念战后80周年？”

～思考“后特朗普时代”的东亚～

日期: 2025年7月26日(星期六) 14:00～17:00(北京时间)

会场: 早稻田大学大隈纪念馆讲堂 小讲堂 及线上(ZOOM网络研讨会)

联合主办: 暹美国际交流财团 关口全球研究会
早稻田大学先端社会科学研究所・东亚国际关系研究所

语言: 日语・中文(提供同声传译) 免费(本次论坛需事先报名)

联系方式: SGRA事務局 (sgra@aisf.or.jp)

论坛主旨

2025年是第二次世界大战结束80周年。随着美国政权的更迭，围绕亚洲的国际局势日益复杂。在这一背景下，深入检视战后历史对于多样性与文明间对话的尊重，以及在相互协作中对话和平的追求，具有重要意义。本次论坛将从日本、中国、韩国和东南亚的视角出发，聚焦战后80年的历程，回顾日本与周边国家和地区之间的和解之路，共同探讨亚洲追求和平的经验，以及当今仍然存在的课题。

主题演讲

藤原归一 (顺天堂大学特聘教授・东京大学名誉教授)

沈志华 (华东师范大学清華教授)

从冷战到冷战
二战后中美关系的演变与日本

冷战、东北亚安全与
中国外交战略的转型

青年学者讨论

- 榎尚希 (关西大学政策创造学部教授)
- LLUXMIWATANNA Motoki (早稻田大学东亚太平洋研究科)
- 野崎雅子 (早稻田大学社会科学综合学術院助手)
- 李熙铭 (南山大学综合政策学部教授)

SGRA Global Research Association
SOKUHO INTERNATIONAL FOUNDATION

2025年7月26日 (土) 14:00～17:00

於・早稲田大学大隈記念講堂 小講堂 およびオンライン (Zoomウェビナー)

日本語・中国語 (同時通訳付)



総合司会 李 恩民
桜美林大学

初夏の暑い日差しの中、会場にもオンライン上でも多くの方々にお集まりいただきました。



開会挨拶 今西 淳子
渥美国際交流財団
関口グローバル研究会



歓迎挨拶 鷺津 明由
早稲田大学





基調講演Ⅰ.
「冷戦、東北アジアの安全保障と
中国外交戦略の転換」
沈志華（華東師範大学）

基調講演Ⅱ.
「冷戦から冷戦までの間
第2次世界大戦後米中関係の展開と日本」
藤原 帰一（順天堂大学）



若手研究者による討論



東アジアの地政学的転換と朝鮮半島を考える
権 南希（関西大学）



タイ保守派の陰謀論分析から考える政治的断層線
ラクスマワタナ モトキ（早稲田大学）



国際秩序と知的交流—留学生政策から考える—
野崎 雅子（早稲田大学）



民間の歴史認識・信頼構築・協力と和解への道
李 彦銘（南山大学）



モデレーターの林 泉忠さん
(東京大学)の進行で
質疑応答を行った。



オンラインで寄せられた質問を
読み上げる陳璐さん(早稲田大学)。
オンラインと会場の両方から
たくさんの質問が集まった。



総括・閉会挨拶
劉傑（早稲田大学）

ご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。
講演録は来年6月にSGRAレポートとして発行予定です。
ぜひご一読ください。



(休憩中)





(休憩中)